

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 25 年度 第 5 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 25 年 9 月 26 日 午後 7:00～午後 8:30
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 6 階 7064 教室
- 3.理事総数 17 名
- 4.出席者数 5 名（書面表決書 5 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、保原幸夫、比嘉正樹、近藤克之 敬称略）
書面表決書（宇佐美彰朗、前河洋一、鈴木良雄、岩山海渡、小林均 敬称略）
オブザーバー（福田麦穂 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（8 月 30 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として比嘉正樹氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 メルボルンマラソンについて
保原氏より現時点での申込状況について報告があり、今後の活動について審議を行った。
■参加申し込み者は川内選手等招待選手を含めて 102 名になった。
ただし、参加料未払いの方が数名いるので、対応していく。
■メルボルンへは黒田氏と保原 2 名が行き、アルバイト 1 名を加えた 3 名で対応する。
■参加者には「2013メルボルンマラソン・大会ガイド」を送付し、その中で現地での交流イベントの参加を呼びかける。
■川内選手については観光局の高森氏の協力を得て対応する。
■モーニングランは保原が対応し、モーニング BBQ、豚汁サービス、完走パーティについては現地との最終打合せをして対応する。
- 第 4 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より各事業の状況について報告があった。
■ J S I E マラソン完走教室
9 月に入っても参加者は少なめで推移している。今後増加することに期待したい。
■ 熟年ランニングスクール
10 月からさらに参加者が増え、13 名で実施する事になった。
■ 浦安・美走塾
第 2 回目は 11～12 月に実施予定。（小学校低学年、約 30 名）
講師は前回同様、石川、比嘉両氏にお願いした。

第5号議案 国際交流駅伝について

保原氏より進捗状況について報告があった。

- 皇居周回の使用許可の問題および在日外国人が参加できるようにということを考慮し、2月2日（日）に開催する。
- 従来の男性の部、混成の部に加えて、外人を含むチーム対象の国際の部を新設する。
- 運営は従来通りエアラン東京に委託する。
- 理事の皆さんに参加賞を提供するスポンサーの紹介をお願いしたい。
- ランネットの準備が済み次第、募集を開始する。

第6号議案 市民ランナー交流セミナーについて

保原氏より実行委員会案の説明があり、その具体化について審議した。

- 国際交流フォーラム「ランニング大会で日本流の“おもてなし”を（仮題）」というタイトルで、日本の大会に海外から多くの人に参加して貰うためには、日本らしい魅力ある大会を作るとともに、海外に向けて積極的な情報発信をしていかなければならないという観点でのシンポジウムを行う事になった。
- 観光庁が積極的に取り組んでいるので、基調講演はスポーツ観光推進室長の八木氏に依頼することになった。早急に比嘉、保原の両氏でお願いに伺うことにした。
- シンポジストの候補として、早稲田大学の間野教授、神戸大学の山口教授、日刊スポーツ新聞社の杉山氏があげられ、間野教授は比嘉氏が、山口教授は山西氏が、杉山氏は保原氏が依頼することになった。
- 総合司会は黒田氏が、シンポジウムのコーディネーターは比嘉氏が行う事になった。
- 大会事務局等に対して当該テーマに関するアンケートを実施する事になったが、素案を実行委員の福田さんに作成して貰う事になった。

第7号議案 その他事業計画の具体化について

時間の関係で、報告および審議は次回に行う事になった。

第8号議案 その他

- 次回理事会について


10月31日(木)の午後6時30分から行う事になった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時30分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成 25 年 9 月 26 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 佐藤文宏 

議事録署名人 比嘉正樹 

議事録署名人 保原章夫 